



結成80周年 金沢市従労



金沢市従業員労働組合の結成80周年記念を彩る式典および祝賀会が、金沢ニューグランドホテルにて10月4日(土曜)に村山 阜市長をはじめとする来賓も含め、総勢100名を超える集結となりました。

これまで市民生活の最前線で、ごみ収集業務に携わり共に汗を流し合った諸先輩方達の顔ぶれも多く並ぶなか、特に80年を振り返れば、直近で令和6年に起きた能登半島地震での収集運搬作業や仮置き場における運営補助等に迅速に対応ができるのも、これまで十ホトカ号重油流出事故、鯖江、浅野川、長野、小松、奥能登の水害現場、能登沖、中越沖の震災現場を経験している諸先輩方からの継承が大きな部分を占めています。

何より、この80年という長きにわたり『直営』を維持できていた事が最も重要であり、組合員が働きがいを見いだし、成長しながら安定した市民サービスが遂行できたものと考えます。



現在もなお、管理センター分別指導班等は単なるごみの見回り役では無く、現場、住民を繋ぐ環境局を動かす軸となるものであり、ゴミ出しサポートや町並み収集等と合わせて決して疎かにしてはならない業務であり、最後は市役所の人の手が何よりも助けと思ってもらえるよう、他に類を見ない素晴らしい仕事ですのです、これからも90年、100年と組合員が誇りを持って発展・進化を遂げてほしいと思います。

我々市従労は、「強調」、「融和」、「連帯」、「団結」が途切れることはありませんと、冒頭の挨拶で松本執行委員長が力強く述べられました。

職場あつての仕事!! 直営を維持しなければ「金沢市従労」ではない!! 目指せ△100年△



強調☆融和☆連帯☆団結 これからも金沢市従労は「全員」で未来を切り開いて行く!!